



学薬のひろば



<11月号>

Vol.035

10月8日(日)～9日(月) 福井県福井市において市内6会場を使用して第39回日本薬剤師会学術大会が開催され、県学薬2名、名古屋市学薬3名で出席いたしました。

今回の大会中、文化会館での2日目、

シンポジウム5:生活と薬剤師 新しい薬剤師像を探る
～地域保健と薬剤師(薬物乱用防止活動、くすり健康教育)
S5-1 「教育講演」今、苦しむ子供たち
水谷 修(水谷青少年問題研究所)



の講演は、現在の青少年の薬物汚染の現状と背景につ

いて実際の現場での事例を中心に、何を社会全体で取り組んでいかなければならないのか? 薬剤師は何ができるのか!まで、そのお話は非常に感銘を受けるものでした。

もっとも重要なのは予防教育であることに変わりはありませんが、学校だけでなく家庭、地域など青少年に関わるすべての社会できちんとした予防教育を展開することが求められていること、そして小学校低学年の頃から、薬物に関する予防教育を与え、自らあらゆる違法薬物の誘いに対して「NO!」といえる勇気を育てることが大人の責務であり、こうした予防教育を展開していく中で重要なのは、薬物を、シンナーや覚醒剤などに特定せず、こうした薬物乱用へのゲートウェイ(入口)となるアルコール・タバコの乱用防止から、さらには大衆薬・処方薬の過剰摂取等も問題となることから、一つ一つの薬物について、その性質、乱用した場合の精神や身体への影響などを正確に教えていく中で、ただ単に「薬物は怖い、人間を止めることになる!」というような脅しではなく、一人一人に、薬物を自ら拒む力を育てていくべきだと話されました。

私たち学校薬剤師が今進めている「くすりのお話」についての取り組みを含めて、“学校薬剤師”

はこうしたきちんとした薬物の予防教育を展開できる職能であるし、また、全国的にも展開可能であると考えられることから、これから先、さらに協力して取り組みを推進していきたいと考えます。

.....

【 今後の予定 】

1. 「くすりのお話」高校生版
10月29日付け作成配布予定
2. 全国学校保健研究大会・全国学校薬剤師大会
11月 9日(木)～10日(金) 島根県松江市
3. 平成18年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会
11月16日(木)～17日(金) 熊本県熊本市
4. 平成18年度東海薬剤師学術大会
12月 3日(日) 静岡県
ポスターセッション参加(寺島理事)
5. 平成18年度 愛知県学校薬剤師講習会
(豊橋会場)
平成19年 2月 4日(日) 豊橋市民センター(カリオンビル)
(名古屋会場)
平成19年 2月11日(日) 東建ホール
両会場とも午後1時より受付

< 講義予定 >

学校環境衛生の向上について(仮題)
愛知県教育委員会 主査 大島雄二

未定

(豊橋会場) 豊田市立藤岡中学校 主任養護教諭 前田富佐代
豊田市立立野見小学校 主任養護教諭 神尾幸代
(名古屋会場) 県立一宮工業高等学校 養護教諭 鈴木昌子

「くすりのお話」について(仮題)
愛知県学校薬剤師会